

—平成20年度 決算の概要—

※ 下水道事業会計は、下水道使用料などを財源とした**独立採算**の会計であり、一般の会社の会計方式に似た方式を取っています。

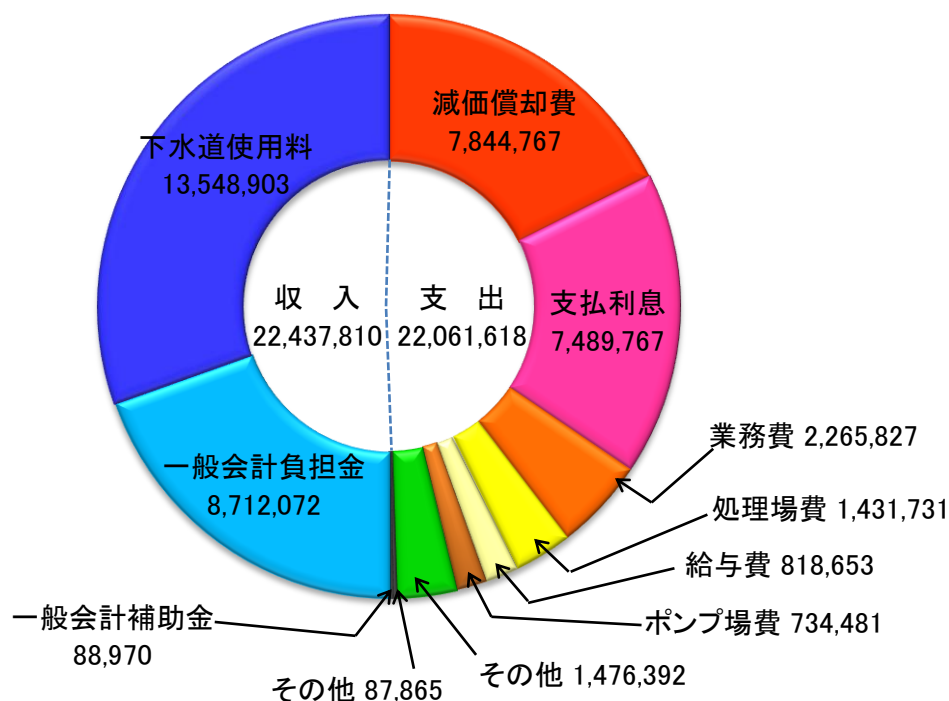
そして内訳は、**収益的収支**と**資本的収支**に分けられます。

1. 収益的収支

※ 収益的収支とは、**下水道関係施設の維持管理などの経営**に関するお金のことです。

<収益的収支 決算>

平成20年度決算 収益的収支 (単位 千円)



<収入>

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
	千円	千円	千円
第1款 下水道事業収益	22,542,484	22,437,810	△ 104,674
第1項 営業収益	22,431,731	22,274,927	△ 156,804
第2項 営業外収益 他	110,753	162,883	52,130

※ 営業収益とは、使用者の皆様からの**下水道使用料**や一般会計からの**負担金**などのことです。

※ 営業外収益とは、市の一般会計からの**補助金**などのことです。

<支出>

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	千円	千円	千円
第1款 下水道事業費用	22,147,643	22,061,618	86,025
第1項 営業費用	14,157,091	13,730,469	426,622
第2項 営業外費用 他	7,990,552	8,331,149	△ 340,597

※ 営業費用とは、下水道関係施設の**維持管理費**と**減価償却費**(下水道管やポンプ場・処理場の設備などを取得したときの金額を、一時に全額計上するのではなく、その使用に耐える年数で割り、その額を毎年計上していく費用)などのことです。

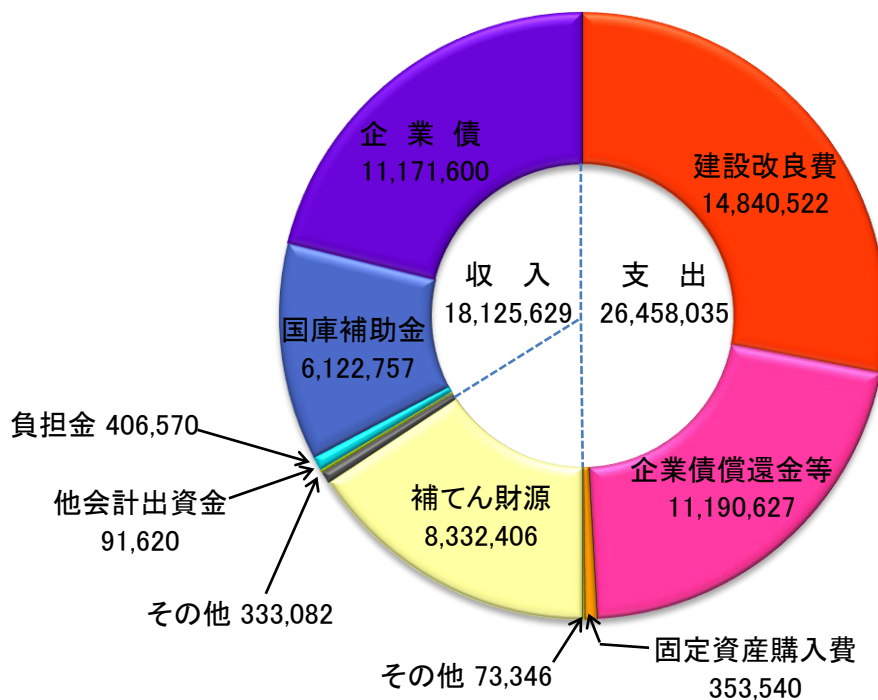
※ 営業外費用とは、建設するときに借りたお金の**支払い利息**などのことです。

2. 資本的収支

※ 資本的収支とは、**施設の建設**に関するお金のことです。その内訳は、①建設財源である**企業債**、**国庫補助金**、②施設の**建設費**や**改良費**、③建設時に借り入れた**企業債の償還金**などです。

<資本的収支 決算>

平成20年度決算 資本的収支 (単位 千円)



<収入>

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
	千円	千円	千円
第1款 資本的収入	25,187,103	18,125,629	△ 7,061,474
第1項 企業債	16,000,700	11,171,600	△ 4,829,100
第2項 他会計出資金	91,620	91,620	0
第3項 補助金	8,776,337	6,122,757	△ 2,653,580
第4項 負担金 他	318,446	739,652	421,206

- ※ 企業債とは、**施設の建設・改良等のために借りたお金**のことです。
- ※ 他会計出資金とは、市の一般会計からの**出資金**のことです。
- ※ 補助金とは、**国から交付されるお金**のことです。

<支出>

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
	千円	千円	千円	千円
第1款 資本的支出	33,852,454	26,458,035	5,744,964	1,649,455
第1項 建設改良費	22,083,872	14,840,522	5,744,964	1,498,386
第2項 固定資産購入費	378,772	353,540	0	25,232
第3項 償還金 他	11,389,810	11,263,973	0	125,837

- ※ 建設改良費とは、**下水道施設**(下水道管、ポンプ場施設、処理場施設)の**建設や改良・更新にかかる費用**のことです。
- ※ 固定資産購入費とは、事業上必要な**固定資産**(土地や自動車、器具、電話加入権や施設の利用権など)の**購入費用**のことです。
- ※ 償還金とは、**企業債の返済金**のことです。

—平成20年度の主な事業—

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、欠かせない都市の重要な基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会の形成に大きな役割を担っています。

このため本市では、第2次5か年計画において、公共下水道を、快適な生活環境に整え、安全で災害に強いまちづくりに必要な施設として位置づけ、整備を推進してまいりました。

この結果、平成20年度末の事業認可面積 13,067 ヘクタールのうち、**12,164** ヘクタールが整備済となり、整備率は 93.1 パーセントとなりました。

また、行政区域内人口 947,832 人に対し、整備区域内人口 920,581 人となり、下水道汚水処理普及率は、前年度より 0.2 ポイント上昇し、97.1 パーセントとなりました。このうち下水道接続人口は、前年度より 15,099 人増加し **902,390** 人となりましたので、接続率は **98.0** パーセントとなりました。

<主要な建設改良事業>

▼下水道管工事費 **61 億 8,382 万円**

○中央雨水1号貯留幹線2工区の工事

○稲毛黒砂貯留管その2の工事 など

(※ その他、誉田町、武石町、加曽利町等の面的整備を推進し、合計 52 ヘクタールを整備しました。)

▼ポンプ場工事費 **49 億 3,193 万円**

○中央雨水ポンプ場の工事

○神明第2ポンプ場の機械電気設備の工事 など

▼処理場工事費 27 億 7,182 万円

- 南部浄化センター高度処理施設の建設
- 南部浄化センター設備の更新工事 など

今後も、より安全で快適な都市環境を実現するため、衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全などを着実に推進するとともに、より一層のコスト縮減等を図り、健全な経営に努めてまいります。

※ なお、さらに詳しい情報をご覧になりたい方は、中央コミュニティセンター2階、市政情報室で資料の閲覧が可能ですのでご利用ください。